

contents

はじめに	3
本書について	5
1. 本書の特徴と活用方法	5
2. 分析に用いたコーパスデータについて	7

Part1

論文を書く前に学びたい執筆のテクニック

1 医学英語論文の流れと Move 分析	19
1 論文のセクションと Move との関係	19
2 Move の特徴と役割	21
練習 1	
2 パラグラフ・ライティングの原則と流れのつくり方	26
1 原則 1 : パラグラフの基本パターンを構成する 3 つの要素	26
練習 2	
2 原則 2 : one paragraph, one idea の原則と流れのつくり方	29
3 パラグラフ間につながりをもたせるフックの活用	30
4 パラグラフの分け方と分量の関係	31
3 signpost の活用と論理展開の原則	34
1 signpost とは	34
2 パラグラフ構成における論理展開の原則	35
3 signpost となるつなぎ表現のパターン	36
4 その他の signpost となる表現	38
練習 3	

4 論文における時制の意味とその重要性	44
■ 時制の使い分けのポイント	44
練習 4	
5 引用のルール	50
練習 5	
復習問題	53

Part2

医学英語論文の構成パターンと特徴的英語表現

Introduction

構成と書き方	60
1 構成のつくり方	60
2 IntroductionのMove構成	61
Move構成と英語表現	63
I Move-1の分析	64
紹介表現	65
1 [疾患／病態] を紹介する表現 1 (主な原因)	
2 [疾患／病態] を紹介する表現 2 (主要な～である：原因以外)	
3 [疾患／病態] を紹介する表現 3 (特徴を述べる)	
近年を意味する表現	67

I Move-2の分析	68
先行研究を紹介する表現.....	69
① 最近の重要な研究を紹介する表現1 (受動態: ~が示されている)	
② 最近の重要な研究を紹介する表現2 (能動態: 研究は~を示してきた)	
問題提起の表現.....	70
① 問題提起するときの逆接表現 (しかし)	
② 問題点を指摘する動詞・形容詞の表現	
I Move-3の分析	74
今回の研究を紹介する表現.....	75
① 今回の研究で何を報告するのかを示す表現1 (ここに)	
② 今回の研究で何を報告するのかを示す表現2 (この研究において)	
③ 今回の研究を紹介する表現 (われわれは~を行った)	
④ 原因を受けて, 行ったことを述べる表現 (それゆえ)	
研究目的を述べる表現.....	78
① 研究目的を述べる表現	
② 行ったことに対する意図を強調する表現 (we ~)	
③ 研究デザインを述べる表現 (~するために設計された)	
④ 研究仮説の検討を目的とする表現 (~かどうか調べるために)	
⑤ 有効性と安全性の検討を目的とするときの表現	

Methods

構成と書き方	86
1 代表的な小見出しと Move との対応.....	86
2 Methods の Move 構成.....	87
3 一人称の使い方.....	87

練習 6

M Move-1 の分析	90
研究対象の選別や適格性を示す表現	91
① 著者が対象者・研究の選別を行ったことを示す表現 (われわれは～を登録した)	
② 判断基準について述べる表現 (基準は～)	
③ [患者／参加者] の選択や分配を示す表現 (～された)	
研究対象の無作為化に関する表現	93
インフォームドコンセントや倫理審査に関する表現	94
① [患者／参加者] からインフォームドコンセントを取得したことを示す表現	
② 研究倫理の承認について述べる表現 (倫理審査)	
著者が行った概略を示す表現	95
 M Move-2 の分析	96
実際に行った研究内容を示す表現	96
① 著者が行ったことを示す表現 (われわれは～を行った)	
② データ収集の方法を示す表現 (データが集められた)	
③ 行われた研究を示す表現 (～が行われた)	
 M Move-3 の分析	100
行った統計解析などを示す表現	101
① 著者が行ったことを述べる表現 (われわれは～を行った)	
② 解析が行われたことを述べる表現 (解析が行われた)	
③ 行われた研究内容を示す表現 (～が行われた)	
その他の表現	103
① モデルを用いる表現 (モデルが～された)	
② 統計的有意性の判定に関する表現	

M Move-4の分析	105
資金提供者および著者の役割を述べる表現.....	106
① 研究資金提供者を示す表現（～から資金提供を受けた）	
② 資金提供者が研究に関与していないことを示す表現（関与していない）	
③ 著者の責任を示す表現（著者は～）	

Results

構成と書き方 112

1 代表的な小見出しとMoveとの対応.....	112
2 ResultsのMove構成.....	113
3 図と表の扱いの違い.....	113

Move構成と英語表現 114

R Move-1の分析	115
提示表現.....	116
① 表や図を使った提示表現（パターンA）	
② 特徴などが表や図に示されていることを述べる提示表現（パターンB）	
違い・関連があることを示す表現.....	117
① 群間の違いを示す表現（～より高かった）	
② 統計的に有意な違い・関連があることを示す表現	
違い・関連がないことを示す表現.....	118
① 結果が統計的に有意ではない場合の表現	
② 統計的に有意な差や証拠がなかったことを示す表現（違いはなかった）	

その他の表現	120
① 比較を示す表現（～と比較して）	
② 得られた結果を示す表現（～が観察された）	
③ 結果の提示のための研究対象の分類表現	
④ その他のつなぎ表現（In ～）	
R Move-2の分析	123
有害作用に関する表現	124
① 有害作用が起こったことを示す表現（有害作用が発生した）	
② 有害作用の関連性を示す表現（関連する有害作用）	
薬剤投与群を示す表現	125

Discussion

構成と書き方 128

1 Discussion の Move 構成	128
2 執筆のポイント	129
練習 7	

Move 構成と英語表現 131

D Move-1の分析	132
研究結果の概略を述べる時の表現	133
① 今回の研究が示した内容を全体的に述べる表現（～を示した）	
② 今回の研究が示すことを述べる表現（知見は～を示す）	
③ 発見したことを述べる表現（われわれは～をみつけた）	

研究結果を考察するときの表現	134
① 関連を示す表現（関連している）	
② リスクの変化を示す表現（リスクを増加させる）	
③ 今回の研究の新しさを示す表現（われわれの知る限り）	
D Move-2の分析	136
先行研究と比較するときの表現	137
考察を行うためのつなぎ表現	137
① 先行研究などと異なる点を述べる表現（～と違って）	
② 逆接表現（しかし／だけれども）	
③ その他のつなぎ表現	
その他の表現	139
① 研究の限界点を述べる表現（われわれの研究には限界がある）	
② 可能性を述べる表現（～かもしれない）	
D Move-3の分析	141
今回の研究のまとめを述べる時の表現	142
① まとめを述べる表現（まとめると）	
② 今回の研究が示すことを述べる表現（知見は～を示唆している）	
③ 証拠について述べる表現（証拠を提供する）	
研究の将来展望を述べる時の表現	144
① 追加すべき研究について述べる表現（追加の研究が必要である）	
② 将来の研究で行うべきことを述べる表現（将来の研究は～すべきである）	
③ 行われるべきことを述べる表現	
巻末付録：頻出動詞・名詞リスト	146

コラム

1 論文におけるシンメトリー	25
2 論文の流れをつくる topic sentence の例	32
3 論文を書くための型を学ぼう	42
4 手本となる論文のみつけ方とその分析法	82
5 投稿時に必要な論文のフォーマットについて	108